

増一種モミチイチゴト云者アリ、葉ノ形槭樹ノ葉ノ如シ、又一種フクベイチゴト云モノアリ、實ノ形フクベニ似タリ、又近世阿蘭陀種ノ蛇苺ト呼ブ者アリ、春舊根ヨリ數莖ヲ叢生ス、高サ一尺許、常ノ蛇苺ノ葉ニ似テ厚ク大ニシテ莖勁シ、面深綠色ニシテ背ニ白毛多シ、花ハ白色ニシテ實ハ淡黄色、大サ楊梅ヨリ大ニシテ味ヨシ、

〔剪花翁傳〕二月開花、唐覆盆子。花一重、白色、開花二月末より三月まであり、方二分陰、地三分濕、土撰ばず、肥大、寒中入べし、下種春彼岸、分株春彼岸に出て、筍のごとし、是を缺分植べし、移十月也、葉は葡萄のごとし、此月より紅葉して散ざるものを、春まで插花にもちふ、正月中旬より彼岸にかけて、若芽生ずるを用ふるなり、

〔剪花翁傳〕三月開花、山覆盆子。花一重、色白、形ち錢葵に似て、葉は五加子に似たり、芒刺あり、開花三月中旬、方地土えらばず、肥大、寒中入べし、下種分株春彼岸よし、移十月中よし、

〔延喜式〕三十九内膳供奉雜菜

日別○中略覆盆子二升○五月○中略中宮准此

覆盆子園二段

右依件令殖、若不滿數、遷替之時、拘其解由、

〔延喜式〕三十三大膳諸國貢進菓子

山城國○中略覆盆子一捧○中略河内國○中略覆盆子一捧○中略攝津國○中略覆盆子四擔○中略

右依前件其數臨時增減隨到檢收附内膳司

〔枕草子〕三あてなるもの

いみじううつくしきちごの、いちごくひたる、

〔殿中申次記〕六月二日